

平成30年度全国学力・学習状況調査から見る

# 三島の子どもたち

## 全国学力・学習状況調査とは

全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われている調査です。教科(今回は国語、算数・数学、理科)に関する調査と、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査が行われました。  
実施日 4月17日(火)  
※理科は3年に1回実施

## 教科についての調査

### (国語、算数・数学、理科)

市内の小学校は、すべての教科で、県の平均正答率を上回り、国語B、算数A・B、理科は、全国の平均正答率を上回りました。

中学校は、すべての教科で、全国の平均正答率を上回る結果となりました。

※A問題は、おもに「知識」に関する問題で、B問題は、「活用」に関する問題です。

【全国・県の平均正答率との比較：凡例は以下のとおり】

対象	教科	問題	全国との比較	県との比較	概要
小学6年生	国語	A	🌸	🌸	全国よりやや低く、 県よりやや高い
		B	🌸🌸	🌸	全国より高く、 県よりやや高い
	算数	A	🌸	🌸	全国・県よりやや高い
		B	🌸🌸	🌸🌸	全国・県より高い
	理科		🌸🌸	🌸🌸	全国・県より高い
	中学3年生	国語	A	🌸🌸🌸	🌸🌸
B			🌸🌸	🌸	全国より高く、 県よりやや高い
数学		A	🌸🌸🌸🌸	🌸🌸🌸	全国より極めて高く、 県よりかなり高い
		B	🌸🌸🌸🌸	🌸🌸🌸	全国より極めて高く、 県よりかなり高い
理科		🌸🌸🌸	🌸🌸	全国よりかなり高く、 県より高い	



### ～表の凡例～

- 🌸 0.1～2.0ポイント低い
- 🌸 0.1～2.0ポイント高い
- 🌸🌸 2.1～4.0ポイント高い
- 🌸🌸🌸 4.1～6.0ポイント高い
- 🌸🌸🌸🌸 6.1～8.0ポイント高い

### 生活習慣や 学習環境などの 調査からわかること



学習や生活に関する質問からは、全国や県と比較して、次のようなことがわかりました。

### みしまの子のすてきなところ

- ◎ 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある子の割合が高い
- ◎ 人の役に立つ人間になりたいと思っっている子の割合が高い
- ◎ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している子の割合が高い
- ◎ 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする子の割合が高い
- ◎ テレビやインターネットでニュースを見ている子の割合が高い

## 生活習慣は学力に影響

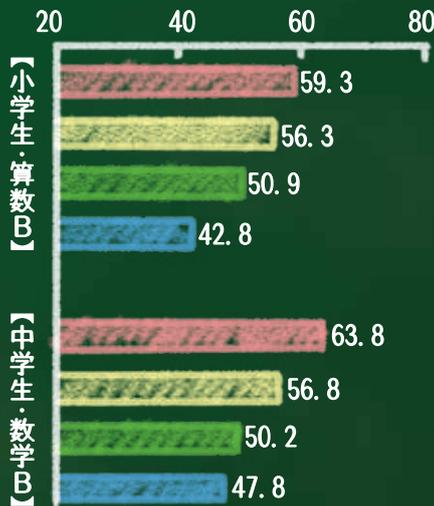
生活や学習に関する質問紙調査の結果と学力の関係を分析すると、各教科の平均正答率が高いのは、次のような子どもたちであるということがわかりました。

- ※自分には、よいところがあると思っている子
- ※学校のきまりを守っている子
- ※朝食を毎日食べている子
- ※家で、自分で計画を立てて勉強している子
- ※家で、学校の宿題や授業の予習・復習をしている子
- ※家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている子
- ※地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子
- ※新聞を読んでいる子
- ※下のグラフでは、生活習慣が学力に及ぼす影響を表しています。

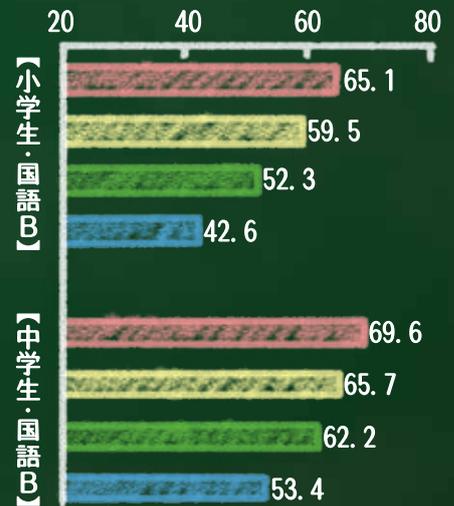
図書室で複数の本を手に取って学習しています  
(国語の授業：山田小2年)



「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の回答と平均正答率との関係 (%)



「地域や社会で起こっている問題に関心がありますか」の回答と平均正答率との関係 (%)



グループで話し合いながら理解を深めています  
(数学の授業：錦田中1年)



- している
- どちらかといえばしている
- あまりしていない
- 全くしていない

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

## みしまっ子の伸ばしたいところ

△家で自分で計画を立てて勉強すること(計画的に勉強している割合：小：全国・県より低い、中：全国より低く、県よりやや低い)  
△家で学校の授業の予習・復習をすること(予習・復習をしている小学生の割合：全国より低く、県より極めて低い)



▲資料を基に意欲的に話し合っています  
(社会の授業：沢地小6年)

現在、三島市の傾向をより詳細に分析しています。詳しい分析結果は、市ホームページと、小・中学生の保護者向けリーフレットに掲載します。  
(いずれも12月中旬予定)

### 問合せ

学校教育課 ☎ 9833・2671